

LM・米国・ ラージ・キャップ・ グロース・ファンド 愛称：アメリカンパワー

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

運用報告書（全体版）

第12期 決算日 2018年7月23日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド」は、2018年7月23日に第12期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税込 分配 金	騰落 中率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
8期(2014年7月22日)	15,910	0	20.0	97.0	—	—	330
9期(2015年7月22日)	22,484	0	41.3	97.7	—	—	276
10期(2016年7月22日)	19,779	0	△12.0	93.9	—	—	251
11期(2017年7月24日)	24,051	0	21.6	97.4	—	—	255
12期(2018年7月23日)	29,076	0	20.9	93.9	—	1.5	157

(注1) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		騰落 率	騰落 率				
(期首)	円	%	%	%	%	%	
2017年7月24日	24,051	—	97.4	—	—	—	
7月末	23,859	△0.8	96.4	—	—	—	
8月末	23,853	△0.8	97.6	—	—	—	
9月末	24,804	3.1	97.6	—	—	—	
10月末	25,519	6.1	99.0	—	—	—	
11月末	25,893	7.7	96.7	—	—	—	
12月末	26,830	11.6	98.1	—	—	—	
2018年1月末	27,454	14.1	96.2	—	—	—	
2月末	26,447	10.0	95.1	—	—	1.2	
3月末	25,368	5.5	95.2	—	—	1.6	
4月末	26,894	11.8	96.2	—	—	1.6	
5月末	27,330	13.6	95.5	—	—	1.6	
6月末	27,508	14.4	94.1	—	—	1.8	
(期末)							
2018年7月23日	29,076	20.9	93.9	—	—	1.5	

(注1) 騰落率は期首比です。

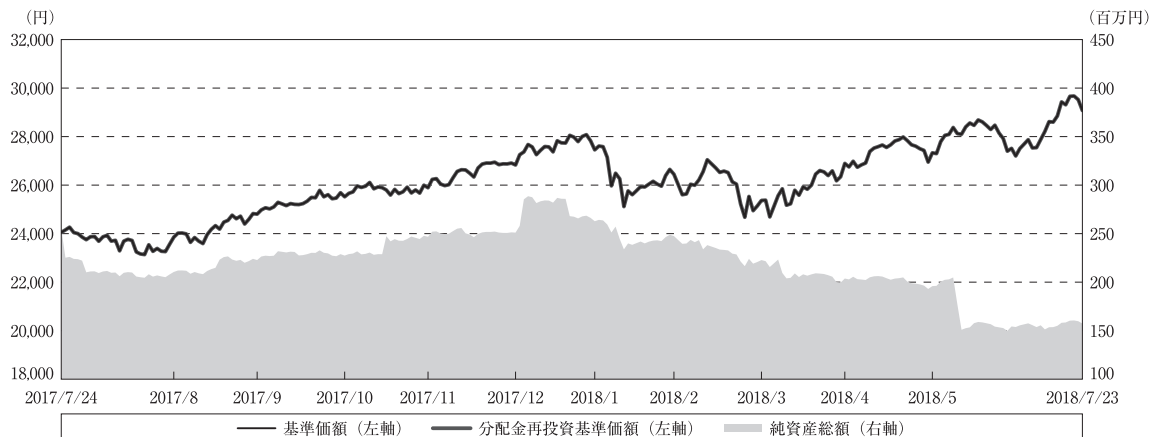
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年7月25日～2018年7月23日)



期首：24,051円

期末：29,076円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：20.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年7月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期末(2018年7月23日)のLM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド(以下、当ファンド)の基準価額は29,076円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス20.9%、基準価額は5,025円上昇しました。

米国株式相場の上昇を背景に、株式要因がプラスとなりました。為替要因による基準価額への影響は大きくありませんでした。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。期前半は、米国景気の緩やかな拡大が続く中、株価は上昇しました。米国議会での予算決議案の可決を受け、米税制改革の審議が進むとの観測が強まったことも、株価を押し上げる要因となりました。期の半ばは、米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げが緩やかなペースで進むとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。さらに、米税制改革法案が成立し、米国景気の刺激効果が意識されたことなどから、株価は上値を伸ばす展開となりました。しかしその後は、FRBによる利上げ加速の思惑が浮上し、米国国債利回りが急上昇したことから、株価は一時大きく下落しました。期の後半は、米政権による保護主義的な通商政策を受けて、米中貿易摩擦への警戒感が高まったことなどから、株価は上値の重い展開となる場面が見られましたが、米国景気の堅調さが意識される中、底堅く推移しました。

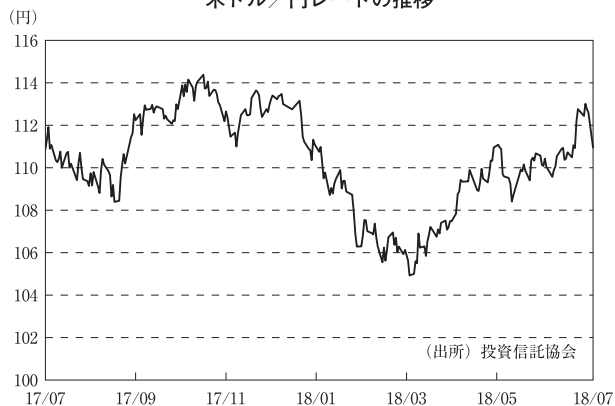
米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

当期の米ドル・円相場は、前期末比ほぼ変わらずとなりました。期前半は、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けてリスク回避姿勢が意識されたことから、米ドル売り・円買いが先行しました。しかしその後は、トランプ米政権による税制改革案の公表を受けて、米国景気が刺激されるとの観測が高まったことなどから、米ドルは対円で反発しました。期の半ばは、日銀が量的緩和縮小に向かうとの思惑が浮上したことや、米財務長官が米ドル安を歓迎する意向を示したことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。さらに、米国株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。期の後半は、米インフレ圧力の強まりが意識されたことなどから、米ドル買い・円売り優勢の展開へと転じました。さらに、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。その後、米ドルは対円で伸び悩む場面もありましたが、FRBによる利上げ加速の可能性が意識されたことなどもあり、上昇傾向を維持しました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

分配金

(2017年7月25日～2018年7月23日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2017年7月25日～ 2018年7月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,075

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年7月25日～2018年7月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 462	% 1.777	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(238)	(0.915)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(210)	(0.808)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(14)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.020	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.020)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	175	0.672	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(160)	(0.614)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(5)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(8)	(0.032)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.009)	権利配当処理に伴う費用
合 計	643	2.471	
期中の平均基準価額は、25,979円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月25日～2018年7月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 31,617	千円 102,177	千口 75,606	千円 244,059

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2017年7月25日～2018年7月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	294,338千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	214,717千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.37

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月25日～2018年7月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2017年7月25日～2018年7月23日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年7月25日～2018年7月23日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年7月23日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 88,318	千口 44,329	千円 159,201

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年7月23日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千円 159,201	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	159,201	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(156,286千円)の投資信託財産総額(159,201千円)に対する比率は98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	159,201,885
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド(評価額)	159,201,851
未収入金	34
(B) 負債	1,869,687
未払解約金	34
未払信託報酬	1,817,285
その他未払費用	52,368
(C) 純資産総額(A－B)	157,332,198
元本	54,110,876
次期繰越損益金	103,221,322
(D) 受益権総口数	54,110,876口
1万口当たり基準価額(C/D)	29,076円

<注記事項>

元本の状況	
期首元本額	106,253,728円
期中追加設定元本額	38,698,557円
期中一部解約元本額	90,841,409円

○損益の状況 (2017年7月25日～2018年7月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	26,107,752
売買益	39,659,198
売買損	△ 13,551,446
(B) 信託報酬等	△ 4,038,947
(C) 当期損益金(A+B)	22,068,805
(D) 前期繰越損益金	29,440,089
(E) 追加信託差損益金	51,712,428
(配当等相当額)	(45,842,751)
(売買損益相当額)	(5,869,677)
(F) 計(C+D+E)	103,221,322
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	103,221,322
追加信託差損益金	51,712,428
(配当等相当額)	(45,922,279)
(売買損益相当額)	(5,790,149)
分配準備積立金	51,508,894

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の45相当額を支払っております。

(注5) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,182,212円)、費用控除後の有価証券等損益額(20,886,593円)、信託約款に規定する収益調整金(51,712,428円)および分配準備積立金(29,440,089円)より分配対象収益は103,221,322円(10,000口当たり19,075円)ですが、当期に分配した金額はありません。

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

運用状況のご報告

第12期 決算日 2018年7月23日

(計算期間：2017年7月25日～2018年7月23日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」の第12期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業を中心に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式先物比率	株式先物比率	投資信託証券比率	純資産額
	円	騰落率				
8期(2014年7月22日)	18,329	21.9	96.1	—	—	百万円 333
9期(2015年7月22日)	26,343	43.7	96.9	—	—	278
10期(2016年7月22日)	23,619	△10.3	93.1	—	—	254
11期(2017年7月24日)	29,217	23.7	96.5	—	—	258
12期(2018年7月23日)	35,913	22.9	92.8	—	1.5	159

(注1) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式先物比率	株式先物比率	投資信託証券比率
	円	騰落率			
(期首) 2017年7月24日	29,217	—	96.5	—	—
7月末	28,995	△0.8	96.3	—	—
8月末	29,032	△0.6	97.4	—	—
9月末	30,230	3.5	97.3	—	—
10月末	31,148	6.6	98.5	—	—
11月末	31,649	8.3	96.2	—	—
12月末	32,835	12.4	97.4	—	—
2018年1月末	33,644	15.2	96.2	—	—
2月末	32,456	11.1	94.9	—	1.2
3月末	31,182	6.7	94.8	—	1.6
4月末	33,095	13.3	95.7	—	1.6
5月末	33,686	15.3	94.8	—	1.5
6月末	33,957	16.2	93.1	—	1.8
(期末) 2018年7月23日	35,913	22.9	92.8	—	1.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年7月25日～2018年7月23日)



○基準価額の主な変動要因

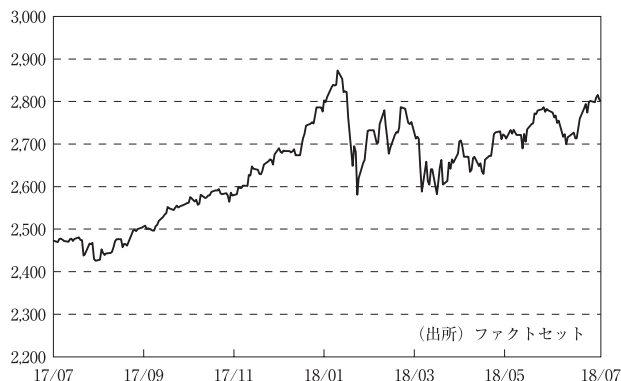
当期末（2018年7月23日）のLM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は35,913円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス22.9%、基準価額は6,696円上昇しました。

米国株式相場の上昇を背景に、株式要因がプラスとなりました。為替要因による基準価額への影響は大きくありませんでした。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。期の前半は、米国景気の緩やかな拡大が続く中、株価は上昇しました。米国議会ででの予算決議案の可決を受け、米税制改革の審議が進むとの観測が強まったことも、株価を押し上げる要因となりました。期の半ばは、米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げが緩やかなペースで進むとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。さらに、米税制改革法案が成立し、米国景気の刺激効果が意識されたことなどから、株価は上値を伸ばす展開となりました。しかしその後は、FRBによる利上げ加速の思惑が浮上し、米国国債利回りが急上昇したことから、株価は一時大きく下落しました。期の後半は、米政権による保護主義的な通商政策を受けて、米中貿易摩擦への警戒感が高まったことなどから、株価は上値の重い展開となる場面が見られましたが、米国景気の堅調さが意識される中、底堅く推移しました。

米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

当期の米ドル・円相場は、前期末比ほぼ変わらずとなりました。期の前半は、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けてリスク回避姿勢が意識されたことから、米ドル売り・円買いが先行しました。しかしその後は、トランプ米政権による税制改革案の公表を受けて、米国景気が刺激されるとの観測が高まったことなどから、米ドルは対円で反発しました。期の半ばは、日銀が量的緩和縮小に向かうとの思惑が浮上したことや、米財務長官が米ドル安を歓迎する意向を示したことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。さらに、米国株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。期の後半は、米インフレ圧力の強まりが意識されたことなどから、米ドル買い・円売り優勢の展開へと転じました。さらに、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。その後、米ドルは対円で伸び悩む場面もありましたが、FRBによる利上げ加速の可能性が意識されたことなどもあり、上昇傾向を維持しました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月25日～2018年7月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 6 (6) (0)	% 0.020 (0.020) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	197 (195) (3)	0.620 (0.611) (0.009)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 権利配当処理に伴う費用
合 計	204	0.642	
期中の平均基準価額は、31,825円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月25日～2018年7月23日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 68	千米ドル 680	百株 191	千米ドル 1,997

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	EQUINIX INC	1	41	0	20
	小 計	1	41	0	20

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2017年7月25日～2018年7月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	294,338千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	214,717千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.37

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月25日～2018年7月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月23日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE SYSTEMS INC	3	1	43	4,858	情報技術
AKAMAI TECHNOLOGIES	9	4	34	3,835	情報技術
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	3	1	24	2,669	ヘルスケア
ALPHABET INC-CL C	0.79	0.39	46	5,127	情報技術
ALPHABET INC-CL A	0.59	0.27	32	3,588	情報技術
AMAZON.COM INC	1	0.5	90	10,062	一般消費財・サービス
AMERICAN EXPRESS CO	4	2	22	2,444	金融
ANHEUSER-BUSCH INBEV SPN ADR	3	2	30	3,436	生活必需品
APPLE INC	2	1	30	3,356	情報技術
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	—	1	11	1,243	ヘルスケア
BIOGEN INC	1	0.87	31	3,462	ヘルスケア
BLACKROCK INC	1	0.52	26	2,901	金融
CVS HEALTH CORPORATION	5	—	—	—	生活必需品
CATERPILLAR INC	—	1	17	1,973	資本財・サービス
CELGENE CORP	5	3	27	3,040	ヘルスケア
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	0.7	0.3	13	1,501	一般消費財・サービス
COCA-COLA COMPANY	10	3	17	1,919	生活必需品
COMCAST CORP-CLASS A	16	7	24	2,770	一般消費財・サービス
COSTCO WHOLESALE CORP	—	1	24	2,669	生活必需品
DENTSPLY SIRONA INC	5	3	15	1,723	ヘルスケア
THE WALT DISNEY CO.	4	2	25	2,832	一般消費財・サービス
EBAY INC	6	—	—	—	情報技術
ECOLAB INC	3	1	24	2,704	素材
FACEBOOK INC-A	3	2	46	5,194	情報技術
WW GRAINGER INC	1	0.89	30	3,360	資本財・サービス
HOME DEPOT INC	3	1	33	3,706	一般消費財・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3	1	26	2,888	資本財・サービス
JOHNSON & JOHNSON	2	1	17	1,996	ヘルスケア
MCCORMICK & CO-NON VTG SHRS	—	1	16	1,830	生活必需品
MICROSOFT CORP	11	5	58	6,438	情報技術
MONSANTO COMPANY	4	—	—	—	素材
NASDAQ INC	5	—	—	—	金融
ORACLE CORP	—	6	29	3,230	情報技術
PALO ALTO NETWORKS INC	2	1	23	2,612	情報技術
PAYPAL HOLDINGS INC	7	3	28	3,193	情報技術
PIIONEER NATURAL RESOURCES CO	2	1	18	2,007	エネルギー
PRAXAIR INC	—	1	19	2,204	素材
QUALCOMM INC	—	3	20	2,276	情報技術
RED HAT INC	4	2	32	3,609	情報技術
REGENERON PHARMACEUTICALS	0.8	0.4	14	1,629	ヘルスケア
ROCKWELL COLLINS INC	4	—	—	—	資本財・サービス
SCHLUMBERGER LTD	7	3	24	2,742	エネルギー
THE CHARLES SCHWAB CORPORATION	9	4	24	2,731	金融
SPLUNK INC	4	2	23	2,575	情報技術
TEXAS INSTRUMENTS INC	4	2	24	2,756	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2	1	26	2,887	ヘルスケア
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A	11	—	—	—	一般消費財・サービス
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	3	1	21	2,362	資本財・サービス

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
UNITEDHEALTH GROUP INC	3	1	40	4,542	ヘルスケア
VISA INC-CLASS A SHARES	7	3	50	5,600	情報技術
VMWARE INC-CLASS A	3	1	18	2,027	情報技術
XILINX INC	4	—	—	—	情報技術
YUM CHINA HOLDINGS INC	11	5	18	2,072	一般消費財・サービス
ZOETIS INC	7	3	28	3,123	ヘルスケア
合 計	株 数 ・ 金 額	230	107	1,331	147,724
	銘柄 数 < 比 率 >	47	47	—	<92.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —は組入れなし。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百口	百口	千米ドル	千円	%
EQUINIX INC	—	0.5	21	2,409	1.5
合 計	口 数 ・ 金 額	—	0.5	21	2,409
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<1.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年7月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 147,724	% 92.8
投資証券	2,409	1.5
コール・ローン等、その他	9,068	5.7
投資信託財産総額	159,201	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(156,286千円)の投資信託財産総額(159,201千円)に対する比率は98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.96円です。

○特定資産の価格等の調査

(2017年7月25日～2018年7月23日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	159,201,007
コール・ローン等	8,991,228
株式(評価額)	147,724,097
投資証券(評価額)	2,409,052
未収配当金	76,630
(B) 負債	42
未払解約金	34
未払利息	8
(C) 純資産総額(A-B)	159,200,965
元本	44,329,867
次期繰越損益金	114,871,098
(D) 受益権総口数	44,329,867口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,913円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額	88,318,379円
期中追加設定元本額	31,617,623円
期中一部解約元本額	75,606,135円

(注2) 期末における元本の内訳

LM・米国・ラージ・キャップ・グロス・ファンド	44,329,867円
-------------------------	-------------

○損益の状況 (2017年7月25日～2018年7月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,123,666
受取配当金	2,079,025
受取利息	47,074
支払利息	△ 2,433
(B) 有価証券売買損益	42,320,054
売買益	54,747,254
売買損	△ 12,427,200
(C) 保管費用等	△ 1,398,187
(D) 当期損益金(A+B+C)	43,045,533
(E) 前期繰越損益金	169,718,719
(F) 追加信託差損益金	70,559,751
(G) 解約差損益金	△168,452,905
(H) 計(D+E+F+G)	114,871,098
次期繰越損益金(H)	114,871,098

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。